

三成部隊ハ前任務ヲ續行シ速カニ湘
郷附近ノ敵ヲ撃滅シテ該地ヲ占領ス

ベシ

四健部隊ハ志摩支隊ト策應シ速カニ
殘敵ヲ掃蕩スルト共ニ廣部隊平山

攻略ヲ容易ナラシムベシ

針部隊ハ二十日現在地ニ於テ予ノ直
轄タラシメ萬縣ニ向フ水路突進ヲ準

備セシムベシ

五廣部隊ハ現任務ヲ續行スベシ

六志摩支隊ハ健部隊ト策應シテ殘敵

ヲ掃蕩シタル後

概ネ二十一日頃迄ニ易俗河附近ニ進出

原所屬ニ復歸スベシ

七岩部隊ハ巴東及易俗河西方地區

ノ敵ヲ捕捉撃滅スルト共ニ速カニ有カ

ナル一部ヲ湘郷南方地區ニ突進セ

シメ成部隊ト策應シテ敵ヲ捕捉撃

滅スベシ

爾後主カラ以テ易俗河附近ヨリ一部

ヲ以テ湘郷附近ヨリ白果市(奉節

西北三。料)附近ヲ經テ萬縣

西側地區ニ向テ突進ヲ準備スベシ

攻勢ヲ開始ノ時機ハ二十一日、二十二日頃

豫定ス

八佐部隊ハ主カラ以テ揚子江東岸

地區ヨリ

有カナル一部ヲ以テ西岸地區ヨリ

萬縣ニ向ヒ突進スベシ

特ニ挺進部隊(歩兵一大隊ヲ基幹トシ

行李及弱兵ヲ除ク)及挺進隊等

ヲ以テ主力ニ依リ意スルコトナク急進

セシメ米水及來江絲ニ萬縣東側ノ

鐵道橋及萬縣飛行場ヲ挺進ト占領

セシムベシ

志摩支隊ハ易俗河一奉節一萬縣

道(含ム)以東ノ地區ヲ萬縣ニ向ヒ突進セシムベシ

九鹿部隊ハ醴陵附近ノ敵ヲ捕捉殲滅セバ

概々現在地ニ於テ攸縣南方地區ニ向ヒ

1815

1770

爾後、突進ヲ準備スベシ

石山部隊ハ建始附近ノ敵ヲ撃滅セバ竹部

隊、該地附近到着迄一部ヲ殘置シ主

カハ成ルベク速カニ上栗市萍郷附近ヲ經

テ豊陵南方地區ヲ繞回シ敵ヲ求メテ

數年滅スベシ

(電註ニニノ項電文ニナシ)

三鐵部隊ハ佐部隊及針部隊ト協力シ

速カニ川湘公路ニ沿ヒ突進シ

鐵道要部ヲ占領確保スベシ

三針部隊ハ巫山附近ニ於テ萬縣方向ニ

向ヒ揚子江遡航作戰ヲ準備スベシ

5571

(終)

183

183

1831

軍機秘親展

1772



第三報

極秘

密
用

傍受電報

六二〇〇〇〇發
〇一三〇〇著

六二〇〇〇〇受付
〇三三〇〇提出

昭和一九、六、二〇

二十日〇六五〇 (電報班受付)

旭部隊參謀長

旭放送電第二三號

(六月十九日)

一 廣昨十八日夕巫山城ヲ攻略強敵掃蕩中健ハ岳鷲山周邊ノ殲敵掃蕩
中ニシテ本夕迄ニ判明セル戰果(健ノミ)

第九〇師殲滅重砲一二門、十榴二門、野山砲一三門、速射砲四、

迫撃砲八門、MG五、LG三七、小銃四〇八、遺棄死體一六〇〇

俘虜二〇〇八、溺死一〇〇〇、俘虜ノ首ニ依レバ巫山周邊ノ敵ハ

十八日朝四散命令ヲ受領セリト

三 鹿本十八日夕醴陵ヲ山兵團ノ歩兵第六十八聯隊ハ泗汾ヲ夫々占領
醴陵周邊ノ敵ヲ殲滅中

尙鹿ノ第六十五聯隊ハ湘東北八紘附近地區ニ於テ有勢ナル敵ヲ攻
撃中ニシテ同方面ニハ第二六軍ノ主力アルモノノ如シ

三 湘郷附近ニハ敗敵逐次集結シツツアリ

四 明二十日ノ天気豫報

曇靜穩

(終)

1775

185

誌用

電報

ハニルロニニ考
ハニルロニニ提出
ハニルロニニ受付

昭和一九、六、二一

旭部隊參謀長

通電先 次長、支(漢口)、登、波、五航軍

旭參電第四三二號 (電註、五月十七日候ノ分)

七 佐部隊ハ官莊附近ニ於テ敵ヲ擊滅セバ昭陵(漢口南一六軒)方向

ニ突進シ暫編第二軍ノ退路ヲ遮斷シテ之ヲ擊滅ス

八 山部隊ハ主力ヲ以テ建始附近ノ強敵ヲ掃蕩有カナル一部ヲ以テ官

莊神福港(醴陵西一八軒)附近ヲ經テ四汾鋪(醴陵南一五軒)方

向ニ突進シ鹿部隊ニ策應ス

九 鹿部隊ハ主力ヲ以テ大坳嶺(醴陵道ニ沿フ地區ヨリ一部ヲ以テ上

栗市附近ヨリ黄土嶺（薩摩河三〇軒）附近ニ突進薩摩附近ノ敵ヲ

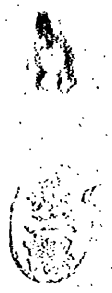
撃滅

佐・竹部隊ヲ以テ長陽迄迄自動車路ヲ掃蕩スルト共ニ歩兵四

大隊基幹ノ部隊ヲ以テ荷荷嶺東麓方山地ノ敵ヲ掃蕩ス（終）

187

1777



極秘

傍受電報

昭和一九、六、二一
六二一〇二〇〇受付
六二一〇五〇〇提出

用

旭放送電第二四號(六月二十日)

六月二十日〇八ニ電報班受付

旭部隊參謀長

「軍ハ「巫山」周邊一帯ノ敵ヲ捕拏殲滅シ「巫山」ヲ完全ニ攻
略セリ

廣部隊「巫山」攻略ニ當リ二十日正午迄ニ判明セル戰果左ノ
如シ

(1) 敵遺棄死體 五五〇〇 捕虜 三〇〇〇

(2) 國營兵器

山砲一二、速射砲一、迫撃砲一〇、重機七、輕機三、擲彈筒
三〇、小銃七五〇、彈藥三〇萬

(3) 被服糧秣多量

ニ軍ハ引續キ敵配備ノ未完ニ乘ジ迅速ニ「萬縣」ヲ攻略スルト
共ニ卒獲捕集スル敵ヲ索メテ隨所ニ掃蕩滅亡ヲ企圖ス
ニ本夕ニ於ケル各部隊状況

(1) 成部隊「湖郷」北方一〇軒附近ニ進出シ「湖郷」ニ對シ攻撃
準備中

(2) 岩部隊一部ハ「湖郷」附近ニ進出シアル管ニシテ主力ハ「易
俗河」南方地區ニ進出シ爾後「洵水」河谷「白果市」附近ヲ
經テ「萬縣」西南方地區ニ突進ス

(3) 佐部隊「崇寧」附近ノ敵ヲ攻撃中

(4) 麻部隊一部ヲ以テ「沔粉舖」南方地區ニ進出シ第三七軍道
驛中、主力ハ「隱殿」西方一五軒附近及「美田橋」(「沔粉
舖」西方一二軒)附近ニ進出シ「沔粉舖」ヨリ「翠嶺驛」ニ前
進シツツアル第三二軍第三二師、第四四師ト遭遇セントスル
状況ニアリ

(5) 健及廣部隊「巫山」「岳嶺山」ノ掃蕩ヲ概ネ終了シ同地(以

下十語不明) 達摩山附近ノ砲撃掃蕩準備中

(6) 山部隊一部ヲ以テ(地名不明)ヲ占領シ主力ヲ以テ(一語不明)「瑤舖」ニ(一語不明)及「建始」西西南一〇軒附近ニ進出シ引續キ「板杉舖」附近ニ到リ敵第二〇匁及第五八匁ヲ攻撃ス

(7) 竹部隊、有力ナル一部ヲ併セ協力セシメ「建始」北側地區ノ敵ヲ挾撃スル爲南下中

四 二十一日ノ天氣豫報

午前晴、午後時々小雨、風速二―三米

(終)

1880

至急極秘親展

1781

第三課

秘

電報

次長宛

九電第五五九號

十九日 於ケル狀況

一 要旨

健部隊ハ十八日十三時岳嶺山一帯ヲ廣部隊及十五時巫山ヲ共ニ完全ニ占領セリ、廣部隊歩兵第十六聯隊ハ醴陵ヲ占領主力ハ周邊ノ殘敵ヲ掃蕩中、

ニ各部隊ノ狀況

(1) 成部隊、歩兵第二百三十五聯隊ハ會家（寧鄉南南西一五軒）附近ヲ、歩兵第二百三十六聯隊ハ四洲廟（西西北七軒）附近ヲ

共ニ湘郷ニ向ケ進駐中

(2) 柳部隊、十三時岳嶺山一帯ヲ完全ニ占領附近ヲ掃蕩中

(3) 志摩支隊、金牛嶺附近ニ進出シタル後一大隊ヲ以テ健部隊ト共ニ附近ヲ掃蕩セシムルト共ニ主力ハ原所屬ニ復歸スベク易俗

河ニ向ヒ轉進中

(4) 部隊、十五時巫山域ヲ完全ニ占領シ目下附近ヲ掃蕩中

(5) 部隊、主力ヲ以テ易俗ニ附近ニ於テ爾後

旭部隊參謀長

六一九二三三五發
六二二〇六四九著
六二二一四四〇提出

昭和一九、一、二二

ノ行動ヲ準備中、中路舖（曷俗河南二五軒）及中路舖（北一四

軒）附近ニハ敗退セル敵集結シアリ

(3)?

生部隊、昭陵東北地區ニ急進中（地名一不明）激江ハ降雨ノ

爲増水會家沖附近ニ於ケル川幅一ニ〇乃至一八〇、水深四乃至

七、流速二米ニシテ佐部隊ハ民船三ヲ攪テ之ヲ渡河セリ、十四

日ヨリ十七日ニ亘リ交戦セル敵ハ暫編第七師、第八師、第六〇

師ノ混成約三・〇〇〇ニシテ敵ノ遺棄死傷七五〇、第八師ハ當

分統一戦力強固離ナリ、佐部隊ノ得タル俘虜ノ數述ニ依レバ

(4)?

暫編第二軍各師ニハ米人指揮將校各一〇名アルモノノ如シ

(5)?

八聯隊ハ本朝滬邊ニ進出シ應部隊ト密ニ策應セリ

鷹部隊、百十六聯隊ハ敵陣ヲ占領歩兵第百四聯隊ハ泗汾北側

ニ進出、歩兵第六十九聯隊ハ依然長坪（上栗南南方一五軒）附

近ノ敵ヲ攻逐中ナリ、當面ノ敵ハ第二六軍主力ト判断セラル

(終)

891

1783

192

秘 親 展



極秘 作戰緊急

電報

通電先 次長、支、第五航空軍

旭部 隊 參謀 長

六三一八四七號
六三二〇八五〇受付
一三三〇提出

昭和一九、六、二三

目録用

參考 波、登

旭參電第六〇〇號

軍ハ二十日十六時左記要旨ノ命令ヲ下達セリ

一 敵ハ永豐、萬縣、儀縣方面ニ敗走スルト共ニ有力ナル一部ハ側背ニ

在リテ側擊、尾撃ヲ企圖シアルモノノ如ク萍鄉西方地區ニハ第三六

軍主力大密縮上表市附近ニハ第二〇軍新編第三軍及第五八軍建始北

側ニハ第四四軍ノ各殘敵蠢動シツツアリ又第九九師ハ霞凝港方面ニ

第一六二師ハ楓林港方面ニ現出シ我方後方ヲ擾亂シツツアリ

ニ軍ハ敵ノ戰備ノ未完ニ乘ジ迅速ニ萬縣ヲ攻略スルト共ニ來援蝟集ス

ル敵ヲ索メテ隨所ニ捕捉殲滅セントス

岩部隊ハ主力ヲ以テ易俗河白果市兩路口（萬縣西北二九計）附近ヲ

經テ萬縣西南地區ニ突進隨所ニ敵ヲ擊滅シテ萬縣ヲ占領スベシ
 瀾鄉方面ニ突進セシメタル部隊ハ該方面ノ敵ヲ擊滅セバ白果市方面
 ニ前進シ主力ニ合セシムベシ、特ニ一部ヲ白雲[?]南岳市[?]九渡鋪
 道ニ沿フ地區ヲ前進セシメ佐部隊ノ一部ニ策應スルト共ニ適時有力
 ナル一部ヲ白家[?]方向ニ突進セシメ敵ノ増援ヲ阻止シ且嘉陵江ヲ分
 斷セシムベシ
 四 佐部隊ハ前任務ヲ續行シ所在ノ敵ヲ擊滅シテ川湘公路及萬縣飛行場
 ヲ迅速ニ占領シ萬縣ヲ攻略シスベシ
 三 針部隊ハ揚子江ヲ遡江シ佐部隊ト協力シテ涪永來江及萬縣東側鐵道
 橋ヲ無礙占領ニ努ムルト共ニ佐部隊ノ渡河ヲ援助スベシ

極秘

六 鹿部隊ハ前任務ヲ履行シ主力ヲ以テ萍郷方面ノ敵ヲ捕獲殲滅セシメ有力ナル一部ヲ以テ攸縣方面ニ突進セシムベク主力ヲ以テ攸縣方面ニ突進スベシ
右ノ時機ハ別命ス

七 成部隊ハ湘郷附近ヲ占領セバ周邊ノ殘敵ヲ掃蕩シ再ビ老河口又ハ永豐方面ニ作戰シ得ル如ク準備スベシ。長百湖南側地區及朱良附近ニ一部ヲ配置シテ揚子江ノ輸送ヲ強化スルコト如故

八 健部隊ハ主力ヲ以テ速カニ揚子江ヲ渡河揚子江以東翎坑一永安市道以北永安市一吉水一蕩江市道以西ノ殘敵ヲ掃蕩シ且遼摩山周邊ニ於ケル敵根據ヲ覆滅スベシ

九 廣部隊ハ速カニ巫山及巴東附近飛行場ヲ(二語不明)待機スベシ
又涪口ヨリ下流ノ揚子江輸送ヲ直接掩護スルト共ニ巫山・岳麓山及巴東附近ヲ確保スベシ

一〇 山部隊ハ主力ヲ以テ上栗市附近ヲ經テ萍郷以南地區ノ敵ヲ殲メテ

捕獲敵シ爾後體隊南方地區ニ集結スベシ、一部ヲ建始附近ニ強置

スルコト如故

竹部隊先遣隊ト策應シテ建始北側地區ノ敵ヲ捕捉殲滅セシムベシ

竹部隊ハ前任務ヲ續行スベシ、松井大佐ノ指揮スル部隊ヲ以テ山

部隊ノ一部ト策應シ建始北側地區ノ敵ヲ捕捉殲滅セシムベシ

予ハ現在地ニ在リ、二十五日頃巫山附近ニ前進スル豫定 (終)

1787

196



極 秘

日 誌 用

傍 受 電 報

六三一〇三三三號
六三一〇一〇〇者
六月二十二日 〇六一五 (電報班受付)
昭和一九六、三三
〇三〇〇 受付
〇五〇〇 提出

旭 部 隊 參 謀 長

旭放送第三五號 (六月二十一日)

- 一 成部隊ハ本朝湘郷ヲ占領セシ管
- 衡州周邊ノ敵狀不明 資慶ニハ一箇師アリ
- 二 佐部隊ハ奉節附近ノ敵陣地ニ崩壊シアル管
- 三 健部隊ハ揚子江ヲ渡江シ綏敵掃蕩中
- 四 鹿部隊ハ本夕司令部ヲ以テ衡山 (湘東西五杆)ニ、第一線ヲ
- 以テ長沙南北ノ線ニ進出敵第二六軍及第五八軍及新編第一〇
- 師 (在、湘東北側地區)ヲ致中
- 五 山部隊ハ本夕司令部ヲ以テ德慶東南二杆ヲ、第一線ハ長沙附
- 近津郷東兩側ニ向ヒ南下中
- 六 敵ノ長沙奪回企圖判斷

第三〇集團軍長「オウレウキ」ハ第二六軍（三箇師）ヲ基幹
トシ第二〇軍、第七二軍（各實力約一箇師）第五八軍（實力
約一箇師半）ヲ糾合シ長沙、岳陽、田鎮附近ヨリ西面西北面シテ
北ヨリ第二〇軍、第七二軍、第五八軍、第二六軍ヲ以テ長沙
ニ向ヒ築中のニ作戰地域ヲ聳シ長沙奪回ヲ企圖セリ、然ルニ
鹿部隊ノ突進ニ依リ第二六軍及第五八軍ハ打撃ヲ受ケ其ノ他
ノ軍ハ山部隊ノ爲側背ヨリ進入攻撃ヲ受クルベク激索團軍長
ノ統制セル長沙奪回企圖ハ斷ニ崩壊シツツアリテ山及鹿部隊
ノ爲將ニ捕捉隊滅セラレントシアリ

七松井支隊ハ概ネ二十四日頃建始ニ到着ノ豫定
ハ明六月二十二日天氣豫報

午前曇又ハ雨、午後微復ノ見込、北東又ハ北西ノ風五米

長沙奪回

第三號

極秘

日誌用電報

報

昭和一九、六、二三

八一八一七三ニ發
ニ三一六四五受付
ニ三一〇六五五提出

旭部隊參謀長

通電先 次長、支總（漢口、南京）

旭參電第五二三號

十八日朝ニ於ケル狀況

一 要旨

岳巖山ニハ少クモ敵一箇師巫山城内ニハ軍長ノ指揮スルニ備
アリ健部隊ハ軍部隊ノ有效ナル協力ノ下本朝遂ニ岳巖山ヲ奪取
ス、志摩支隊亦岳巖山西南方ニ進出挾撃ノ態勢成リ廣部隊ハ本
拂岡巫山城壁至近距離ニ進出遊撃隊ヲ東南角ニ指向シ力攻中ナリ
岩部隊ハ揚子江ノ渡河ヲ完了一部ヲ以テ巴東ヲ攻撃セシムルト共
ニ爾餘ハ易俗河西方高地帯ニ向ヒ急進中
佐部隊ハ將ニ揚子江ニ進出セントス
廣部隊ハ主力ヲ以テ近ク遺隊極近ニ一部ヲ以テ浦東（萍鄉西方

一〇(杆) 北方地區ニ進出ス

敵第一六軍ハ湘東萍鄉附近ニ進出シテリテ戰線再ビ活況ヲ呈シアリ

坑窪部隊ハ連日主力ヲ以テ健、廣部隊ノ岳嶺山、巫山ノ攻撃ニ容

ニ協力スルト共ニ指揮連絡及搜索ニ力圖中ナリ

ニ 各部隊ノ狀況

(1) 成部隊ハ十七日夕、双板橋附近ニ於テ營面ノ敵ヲ力攻中ニシテ「キ」

江橋(寧鄉南方二五杆)附近ニ約二、〇〇〇ノ敵退却中ナリ

歩兵第二百三十四聯隊ハ寧鄉西北五杆附近ニ於テ新ニ老河口方面

ヨリ東南進セル敵約五〇〇ヲ西北面シテ攻撃中ナリ

(2) 志摩支隊ハ十七日十二時頃楓樹舖出發學院沖(南方二杆)毛福田

(西南方二杆)附近ヲ經テ前進シ本朝郭宇橋(楓樹舖東南一〇杆)

東北方地區ヲ東北進中

(3) 徳部隊ハ本朝遂ニ岳嶺山ヲ占領ス

廣部隊ハ本朝城壁至近距離ニ進出力攻中ニシテ右翼隊ノ一部ハ八

時巫山東南角城壁ニ突入セリ

岳嶺山ヨリスル側方砲火ハ本朝來沈黙セリ

(5) 岩部隊歩兵第百三十三聯隊ハ渡河ヲ完了シ巴東ヲ攻撃中

歩兵第百二十聯隊ハ澁口方面ニ南進爾餘ハ株洲附近ニ於テ渡河シ
本朝南塘坪（株洲南方一〇軒）及周家冲（澁口西方一〇軒）ヲ西
進中

漣水ニハ敵五〇〇噸級船舶上航シツツアリ（湘河口及源湘河附近）
湘河口北側ニハ機關砲五門アリテ對空射撃熾烈ナリ

(6) 佐部隊 太田支隊ハ曾家冲（澁口東方九軒）松山支隊ハ李家渡
（東南八軒）附近ヲ西南進中

(7) 山部隊ハ依然建始周邊ノ殘敵ヲ掃蕩中ニシテ歩兵第六聯隊及騎兵
隊ハ石坳市（建始北方五軒）三子樟（西北二軒）附近ノ頑強ニ據
抗スル敵第一六一師ヲ攻撃中 砲兵部隊（歩兵一大隊屬）ハ十七
日拂曉肖家坳（張市東南方五軒）附近ニ休宿中ノ敵第九五師第二
八三團ヲ急襲殲滅セリ

歩兵第六十八聯隊ハ昨夕神福港（醴陵西西南一六軒）ヲ通過庶部
隊ニ策應スベク一應東南進中ナリ

(8) 鹿部隊 本朝歩兵第百十六聯隊ハ貴沙舖附近ヲ、歩兵第百四聯

201

隊ハ視頭洲南方四軒附近ヲ共ニ醜陵附近ニ向ヒ西南進中
 歩兵第六十九聯隊ハ巴蕉塘（上黨市南方一二軒）附近ヲ南進中ニ
 シテ劉庄（南二軒）附近ニハ約二千ノ敵退走中ナリ 尙湘東（萍
 鄉西方一〇軒）及其ノ東南方地區ニハ約五千ノ敵（歩兵二六大隊
 主力）集結中ナリ萍鄉ニモ點々敵ヲ見ル
 (9) 竹部隊ノ一部ハ本朝長陽ヲ發シ殘敵ヲ掃蕩シツツ建始ニ向ヒ前進
 ヲ開始セリ

(終)

202

1793

第三課

傍受電報

六月二十三日九時三十分（電報班受付）

昭和一九、六、二三

日誌用

旭放送第二六號

旭 部 隊 參 謀 長

一「鹿」部隊右突進聯隊ヲ以テ敵ヲ分斷楔入シ二十二日十五時澤郷ヲ攻略敵ノ東走ヲ遮斷主力ハ敵第二十六軍及第五十八軍擊滅中

二「山」部隊二十二日十二時頃「神」部隊ヲ以テ「長呼」「一」郷「西北十四軒」附近「部」部隊ヲ以テ「天子厩」「上栗市」南東一二軒ニ於テ左端戰團中「中」部隊「具牌山」「上栗市」西南四軒ヲ南下急進中戰團司令所ハ「上栗市」北北西四軒ニアリ

三「佐」部隊二十二日午前戰團司令所「奉節」東北側附近第一線八三十一日「石灣」附近ニ於ケル頑強ナル敵ノ抵抗ヲ排除シ

203

ツ三十一時「澤水」ノ線ヲ進出シ二十二日渡河中

四「岩」部隊二十一日早朝第一線ヲ以テ「古龍」(「易俗河」東

南三軒)「月」(「東東南六軒)「苗家沖」(「東東南三軒)

ノ線ヲ出發シ先ツ「白果市」東南高地ノ線ニ向ヒ前進中

五「成」部隊昨二十一日「湖郷」ヲ占領シ周邊掃蕩續行作戰準備

中、捕提セル敵約二千ハ第七三軍第四軍及戰區直轄部隊ノ一部ヲ

六「針」部隊二十一日二十一時「瓜山」出發二十二日十一時三十

分「易家灣」附近ヲ翔行中

七敵情

(一)「萍鄉」方面

(3)第五八軍部ハ「赤山橋」(「萍鄉」東北九軒)ニ新編第二〇師

主力ハ「密」(「萍鄉」北北西五軒)附近ニ本二十二日集結

セントシアリ

軍事機秘親展

(2) 二六軍部ハ二十日「腊樹下」ハ「萍郷」西西南一七杆、第四

四師ハ「劉公廟」ハ「萍郷」西一六杆、第四一師ハ「下埠」ハ

「萍郷」西一八杆、各線ニ進出シアリタルモ「鹿」部隊ノ猛攻ニ

依リ四分五裂ニ敗走セルモノノ如シ

(3) 第二〇軍主力ハ二十日「上栗市」附近ヨリ「醴陵」北方地區ニ移

動ヲ開始シ第一三四師ノ一部本二十二日朝山部隊ノ攻撃ヲ受

ケ南方ニ敗走中

(二) 「奉節」方面

(1) 第三七軍軍部ハ二十日(又ハ二十二日)「横嶺舖」ハ「醴陵」南

一八杆ニ在リ其ノ一部ハ「綏口」附近ノ山地ニ進入シアリ、同

軍ノ打撃ハ殆下潰滅的ナルモノノ如シ

(2) 暫編第二軍ハ二十一日「崎岳」ヨリ「黔江」方面ニ於ケル我ガ進

隊阻止ヲ命ゼラレ二十一日暫編第七師ハ「上僕湖」(「宋亭」東

南)一八杆、暫編第八師ハ「漆刺山」(「上段湖」西南六杆)附

近ヲ「川湖公路」ニ沿ヒ潰走セリ

(3) 「湘郷」方面

第四軍ハ「永寶」(「湘郷」西百五〇杆)附近ニ敗殘兵力ノ糾合

ヲ企圖シアリ

(4) 「岩」部隊ニ對スル敵軍ノ攻撃ハ熾烈ナリ

ハ明二十三日晨時々至リ風キシ

(終)

第三課

極秘至急

電報

六二四一五五發
六二四一五〇著

昭和一九、六、二四
六二四一五二〇受付
六二四一六五〇提出

旭部隊參謀長

日誌用

通電先 次長、支總（漢口、南京）

旭參電第六八〇號

二十三日朝ニ於ケル狀況

一 佐部隊ハ本朝冰水南方地區

岩部隊ハ白果市北方地區 共ニ萬縣ニ向ヒ突進中ナリ

鹿部隊ハ二十二日十五時襄陽ヲ占領シ引續キ山部隊ト策應シ

テ襄陽周邊ノ敵ヲ掃蕩中

軍ハ佐部隊ヲ前線ニ進出セシメ、鹿部隊ヲ後方ニ配置シテ對シ

ニ來陽附近ニ於テ川漢鐵路ヲ分斷シ、山部隊ノ一部ヲ、ツツシテ襄陽附近ニ先

遣スルト共ニ主力ハ襄陽附近ノ敵ヲ膠着シタル後、同シク來

陽附近ニ前進シ來渡スル頃迄ニ膠着セシメ、山部隊ハ襄陽附近

近ヲ掃蕩後陣隙附近ニ急進スル如ク本日部署セリ

ニ各部隊状況

(1) 佐部隊ハ米水南方地區ヲ突進中ニシテ司令部ハ昨夕潭泊(奉

節東南一〇軒)對岸ニアリ

爾後太田旅團(橋本大隊缺)大水田(潭泊西南八軒)一六

〇(西南南一〇軒)一高橋(南六軒)道ヲ高橋附近ニ前進ス

一部ヲ以テ三江渡(西南八軒)、主力ヲ以テ泉溪市(一〇)

(高橋西南南八軒)ニ向ヒ前進ス

松本大隊ハ栗木坪（大水田東南六軒）―石灘廟（西南南一二軒）―
泉溪市道ヲ泉溪市ニ前進ス

松山大隊ハ主力ニ介意スルコトナク、萬縣飛行場ニ突進シ飛行場
及萬縣東側鐵道橋ヲ占領確保ス

(2) 岩部隊ハ白果市東北地區、白果市南方高地ニ向ヒ突進中

(3) 成部隊ハ湘郷ニ於テ爾後ノ作戰ヲ準備中

瀧部隊ハ沅江附近ヲ確保シアリテ當面ニ大ナル敵ヲ認メズ

(4) 瀧部隊

昨二十三日來歩兵第百十六聯隊ハ襄陽ニ突入シ本朝部隊主力ヲ以
テ襄陽周邊ノ敵ヲ掃滅中

軍司令ニ悉キ時二十四日襄陽附近ヨリ行動開始ノ豫定

(5) 山部隊ハ襄陽西北地區ニ於テ昨夕以來敵第一〇〇連、第五八連、

第七二連ヲ各一箇師ヲ攻撃中

初後襄陽東北地區ニ進出ス

(6) 砲部隊

遼東山系ノ敵ヲ掃蕩中

(7) 廣部隊

野溝旅團(歩兵三大隊基幹)ハ左方巫山發奮陽ニ向ヘリ該部隊ハ先ツ全力ヲ以テ富陽飛行場ヲシウク

(8) 針部隊ハ二十二日朝易家灣出發南進中

(9) 第六十四團團ハ二十二日漢中附近ニ集結ヲ終リ二十三日朝ヨリ逐

次鐵道ニ依リ南下

(10) 里部隊特種輸送隊(原材料搬送)ハ十七日ヨリ二十日ノ間輸送中

ノ高射砲及砲屬機銃等ニ依リ「B-1」四機ヲ戰闘機一機ヲ

撃墜。二機ヲ墜破セリ

(終)

秘

電報

六二五
三三〇〇發
六二四一一五提出

昭和一九、六、二四

日誌用

通電先 次長、支總（漢口、南京）

旭 部 隊 參 謀 長

旭參電第六五三號（電註、一部未著ナルモ取敢テ配布ス）

二十二日朝ニ於ケル狀況

要旨

佐部隊ハ奉節附近ニ突進中、昨夕山部隊ハ上栗市附近、鹿部隊
ハ湘東附近ニ於テ共ニ當面ノ第二六軍及敗殘第二〇及第五八軍
ヲ萍郷ニ向ヒ包圍攻撃中ナリ、成部隊ハ湘郷附近ニ於テ爾後ノ
作戰ヲ準備中

各部隊ノ狀況

- (1) 佐部隊、奉節東方地區ヲ萬縣ニ向ヒ急進中
- (2) 鹿部隊、昨夕歩兵第四百聯隊ハ麻山（萍郷西南七軒）東南池
區、其ノ一部ハ劉公廟市（湘東東南南五軒）附近ヲ、歩兵第百
十六聯隊ハ湘東附近（五語不明）北方五軒附近ニ於テ當面ノ敵

第二六軍ヲ攻撃中、歩兵第六十八聯隊ハ七都村方向ニ南進中

(8) 山部隊、昨夜上栗市及白兎單塘（上栗市西南一六軒）附近ニ

於テ當面ノ敵敗殘第二〇及第五八軍ヲ攻撃中、建始ニハ依然歩

兵二大隊及騎兵部隊アリテ同地北方ノ敵第四四軍ヲ攻撃中

山部隊ハ二十一日朝來ノ豪雨ノ爲河川ノ水量意外ニ増加シ大濤

舖及白兎單塘附近ニ於ケル渡河ニ大ナル困難ヲ來シ辛ウジテ求

メタル一、二ノ民船及水馬ニ依リ渡河セリ

(4) 竹部隊、松井支隊ハ建始ノ山部隊ノ一部ト策應シテ建始北方

ノ敵ヲ背後ヨリ攻撃スベク急進中ニシテ明二十三日頃ニハ邊山

陽（建始西北北二二軒）附近ニ進出スル豫定

(5) 成部隊、（地名一不明）附近ノ殘敵ヲ掃蕩スルト共ニ爾後ノ

作戰ヲ準備中

(6) 針部隊、二十一日夜巫山附近ヲ渡シ目下易家灣附近水路ヲ南

進中

(7) 岩部隊、本朝右利口西南二〇軒附近ヲ萬縣附近ニ向ヒ急進中

步兵第百三十三聯隊ハ（地名「木原」）方向ヨリ白果市方向ニ急進
中ナリ

岩部隊ハ株洲員作河附近ニ於テ執拗ナル敵機ノ攻撃ヲ受ケ其ノ

日延機數一〇〇機株洲ノ攻撃回數一〇回ニ及ベリ

(8) チン部隊、二十一日揚子江ヲ渡河シ遼寧山月邊地區ノ掃蕩作戦

ヲ開始セリ

(9) 廣部隊、瓦山嶺戰場ノ掃蕩及鄭黎市京南方面ノ敵ヲ掃蕩中

(10) 第一野戦補充隊

（電註。以下一部未著）

東北地區急造自動車道路ノ構築ニ任ズ

(11) 二十日以來戰場ハ降雨頗多雲低ク視程減隊ハ悪天ヲ冒シ地上部隊

ニ直接協同シアリ

第四班

電報

次長宛

第?號

獨空情報第一二日(十六日)

天候不良ニシテ兩空軍ノ活動不活潑?

敵ハ晝夜ニ亘リ白國附近ノ獨軍專施設ヲ攻撃ス

獨空軍ハ晝間戰鬥機部隊ヲ以テ陸軍部隊ノ掩護夜間ハ一部ヲ以テ塲庭

妨害及機雷敷設

六二〇一七三〇機
六二〇一七三〇著
六二〇一七三〇受付
六二〇一七三〇機出

獨逸大使館附武官

昭和一九、六、二一

(終)

1081

1805 618

日誌用

極秘

第三編

報

六二五 〇九三五 一三五〇 著 六 三三 一四四〇 受付 五四 一〇五〇 提出

昭和一九、六、二四

旭部隊 參謀長

通電先 次長、支總、南京、漢口

旭部隊第六三〇號

217
3/10

(電註、冒頭一部未着目下再電要求中ナルヲ取敢ズ配布ス)

山部隊 晉南大宅鋪附近ヲ萍郷ニ向ヒ突進體陵奪回ヲ企圖セル第

三〇集團軍ニ對シ峻端ヲ開キツツアリ

各部隊ノ狀況

(1) 成部隊 本朝瀾郷ヲ占領シ爾後ノ作戰ヲ準備中

(2) 岩部隊 歩兵兩百三十五師隊ハ瀾郷ヲ占領シ白果市方向ノ攻取ヲ

急進中ニシテ主力ハ易俗河附近ヨリ白果市方向ニ作戰行動ヲ繰

セリ

(3) 佐部隊 石灣附近近ク敵ニ追尾シツツ急進中ニシテ襲撃ノ戰隊ハ

本朝瀾郷ヲ攻取セリ

鐵道ハ三門ハ津川西側々ニ五料(對岸以北住民ニ依リ所々軌道ヲ

撤去セラレ橋梁ノ一部ヲ破壞セラレアルモ橋脚ハ現存シアリ

輸送材料ハ未ダ困難シアラス

(4) 鹿部隊ハ昨夕ヨリ瀧京附近ノ敵ヲ攻撃中ニシテ當面ノ敵ハ第二六

軍ナリ

(5) 山部隊ハ大庄舖附近津郷方向ニ突進中

(6) 德部隊ハ本日湯子江ヲ渡江シ遼道中周邊地區一帶ノ殘敵ヲ掃蕩ス

(7) 廣部隊ハ一部ヲ以テ巫山飛行場ヲ銳意補修掃蕩中ニシテ主力ハ巫

山東側地區ニ進軍中ナリ

又歩兵一大隊基幹ヲ以テ梁黎市(巫山東方一二料)東南方地區ノ

約一五〇〇ノ敵ヲ掃蕩中

廣部隊ノ戦果中遺棄死體三五〇〇ニ更ニ五九三ヲ追加ス

三 醜陵奪回作戰ニ於ケル敵情判断

敵第二六軍ハ津郷附近ニ進出後機ヲ見テ遼道或ハ醜陵方面

シ我レヲ攻撃セントセンシカ我カ鹿部隊ノ突進ニ依リ高石西北方地

此ノ簡師部隊ヲ依リ醴陵ヲ占領セシメルルヤ之ヲ奪回シ企圖シ第三
 ○集團軍長王陵基ヲ建始東側山地ニ殘存遂次南下中ノ第三軍及
 第七軍(實力各約一箇師程度ト判断ス)。第五軍(實力約
 一箇師半程度ト判断ス)ヲ糾合シ第二六軍(三箇師)ヲ基幹トシ
 夕刻醴陵奪回ヲ企圖シ六月二十日命令ヲ下シテ北方ヨリ第二〇
 第七二、第五八、第二六各軍ノ順序ニ湘東一ピ田橋一附近ヨリ西
 面及西南面シテ醴陵ニ向ヒ集中的ニ作戰地境ヲ割シ攻撃ヲ準備ス
 然ルニ我が兩進部隊主力ノ果敢ナル醴陵ヨリノ突進ニ及ビ之ガ實
 施ヲ困難ナラシメ遂次第二六軍ノ先頭ハ攻撃ヲ受テ防禦ヲ立ツノ
 止ムナキニ至ル。又南下中ノ其ノ他ノ敵軍ハ山部隊ヲ南下ニ依リ
 背後ヨリ攻撃ヲ受テ統合セラレザル狀況ニテアリ。即チ敵集團軍長
 ノ統制組織セル醴陵奪回企圖ハ既に各箇擊破ニ依リ崩壊シツツア
 リテ我が精銳・山・鹿兩部隊ノ爲將ニ捕捉擊滅セラレントシアリ

(終)

堵シ敵ヲ退シタ、益陽東南方ニ於テハ我軍ハ三里橋、十里橋ヲ奪
同シタ、益陽東方〇河ノ南岸ノ敵ハ十三日夜寧郷ニ向ケ進犯シ來タ
リ現在寧郷西北ノ東北二十五支里ノ地帯テ我軍ト激戦中

◎浙江省東部方面

(重慶電報・六月十五日〇時半)

金華ノ敵ハ十日早朝三隊ヲ分レテ我軍ニ進ミシテ來タ、現在激
戦中

◎當陽方面戦況

(重慶電報・六月十五日〇時半)

恩施十三日電キヨレバ我軍ハ當陽東北方ノ敵ニ進ミシ敵ノ反撃
ニヨリ猛烈ナ激戦ヲ遂行シタガ我軍ハ敵多微ヲ掃シタ、敵ハ我軍ノ
追討ヲ阻止スル事カ出來ズ退却シ我軍ハ之レヲ追撃中デアル

極秘

日誌用

電報

昭和一九、六、二四

一〇〇一五發
一〇〇一三〇受付
一〇〇二〇半出

次長宛

旭部隊參謀長

旭參電第五八五號（電註、一部未着目下再電要求中ナルモ取敢ス配布ス

二十日朝ニ於ケル狀況

一、要旨

成部隊及岩部隊ハ有力ナル一部ト共ニ潮郷附近ニ向ヒ敵ヲ急追中
ニシテ鎗及廣部隊ハ吾郷山及孤山附近ヲ掃蕩中

（電註、一部未着）

第九〇師ヲ殲滅シ周邊ヲ掃蕩中ニシテ目下判明セル戰果左ノ如シ
夏ニ増加ノ見込 但シ應援火炮使用ノ能否ハ調査中

遺棄死體一六〇〇（別ニ溺死者目撃セルモノノシニテモ一〇〇〇
以上） 炸藥二〇〇〇、南應重砲一二門、十榴二門、野山砲一三
門、速射砲四門、迫撃砲八門、重機五、輕機三七、小銃四〇〇

(8) 廣部隊

巫山周邊地區ヲ掃蕩中ニシテ十九日夕迄ハ判明セラル戦果左ノ如シ
更ニ増加ノ見込。但シ自機大砲ノ使用ハ能容ヘ目下調査中アリ
遺棄死體三三〇〇、俘虜三〇〇〇、鹵獲山砲一二門、遠射砲一門
迫撃砲一〇門、重機三〇

(電註、一部未著)

一部ヲ以テ依然進路北方ノ敵ヲ攻撃キシメ主力ハ大雲備附近ノ第
二〇旅及新編第三五ヲ捕提殲滅スベク建給東京臨一〇ヲ附近リ東
南進中ナリ

(7) 廣部隊

一部ヲ以テ

(電註、一部未著)

敵情判斷

軍機極秘親展

第九戰區長官ハ極力萬縣防衛ノ手段ヲ講スルナラン。然レドモ我
カ佐部隊及岩部隊ノ突進ニ依リ衡山、涑水ノ線ニ於テ組織的ニ抵
抗スルハ既ニ時機ヲ失シ分斷擊破セラレタル部隊ヲ糾合シ所在ニ
逐次抵抗セシメ時間ノ餘裕ヲ得ルト共ニ萬縣地區ニ於ケル防衛ニ
努ムベシ

即チ川湘公路方面ニ於テハ第一〇軍主力及暫編第二軍ノ一部ヲ以
テ衡山附近ニ、又第三七軍等（多キモ兵力一箇師）ヲ以テ贛土嶺
次チ修縣附近ニ於テ

（電註、一部未著）
建始西北山地ニアリテ殘敵部隊ヲ糾合擾亂ヲ企圖シテ兇暴ノ步如
ク第七三軍、第七四軍ハ逐次湘郷及

（電註、以下未著）

1812

◎ 獨軍シニルブル牛島放棄ノ氣配ナシト

(梁港。六月十八日七時)

シニルブルノ西海岸ニ於ケル米軍ハシニルブル牛島ノ西岸ノ公路ヲ封鎖シタ、乍然今ノ所テハマダ獨軍方同牛島ヲ撤退セシトスル氣配ハ見ラレナイトブラツドレイ將軍ハ語ツタ。

◎ 米八二? 空輸師團ツン。ウウヅムールニ在リト

米八二? 空輸師團ハツン。ウウヅムール。ラ。コンシカラ島形ニ陣地ヲ擴大シタ、ソノ他ノ米軍ハラ。ア。ド。ブイ市へ四圍ノ地點ニ在ル方同地區方面テハ頑強ナル獨軍ノ反行ハ行ハレルモノト思ハレル、聯合軍司令部ハ佛蘭西愛國軍ハ獨軍ノ前線出動ヲ妨礙シテホルト公表シタ。



極秘

用

傍受電報

昭和一九、六、二四

六二五 二三四〇發
二三四九著 六二四
六月二十四日七時 (電報逕受付)
〇〇三〇受付
〇〇三〇提出

旭 部 隊 參 謀 長

旭放送電第二七號 (六月二十三日)

一 佐部隊ハ萬縣ニ近迫シツツアル筈 二十二日朝以來敵ハ萬縣飛行場ノ破壞ヲ開始セリ

二 鹿部隊ハ淳郷周邊ノ砲散掃蕩、明二十四日以降出發倭縣方面ニ對シテ進歩兵第六十八聯隊ハ倭縣附近ニ於テ鹿部隊長ノ同意ヲ得テ以テ山部隊ニ復歸ス

三 湯子江西方地區ノ敵留

(1) 第九九號、第四軍總ノ散殘兵力ヲ悉次永豐附近ニ融合セントス

リ、第九九軍第九九師ノ兵力約二箇連、第九二師ノ若干兵力ハ其
長ト同行第三二師ノ殘餘約一〇〇名新編第三三師ハ後調備トシテ
長沙附近ニアリシガ二十一日朝漣水ヲ渡河衡州ヘ

(2) 第七九軍（第九八師、第一九四師）ハ昨二十二日溪口（永豐北北
西二〇軒）ニ到達宿營セリ

(3) 第七四軍第五八師ノ所在ハ不明

四當戦線ニ於テ既ニ二式複座戦機ヲ使用シアリ、又近ク三式戦機
機受領セラルル豫定ナルヲ以テ敵機トノ識別ニ注意ヲ要ス
敵機ト誤認セラルル虞アル場合友軍機ハ波狀運動或ハ引込ミ脚ノ
脚出等ヲ行フ筈

(終)

1815

888221

第二編

極秘

日誌用

傍受電報

昭和一九、六、二五
六月二十四日發
六月二十五日(電報班受付)

旭 參 謀 長

旭放送第二八號(六月二十四日)

一 佐部隊ハ本二十四日朝來江ヲ渡河シ萬縣ヲ攻中

二 岩部隊ハ十四時白果市西南方一〇軒附近ニ進出シ主力ヲ以テ

萬縣・有力ナル一部ヲ以テ白鶴嶺(萬縣西)軒ニ向ヒ突進

中

三 鹿部隊ハ本二十四日朝曉進ヲ開始美田橋・攸縣ヲ經テ來陽ニ

前進中ノ工兵及歩兵一大隊ヲ攸縣ニ向ヒ先遣シアリ

四 山部隊昨二十三日六時五十分浮郷ニ十七時三十分頃安原ニ進

入セル敵ヲ掃蕩中、又建於鐵管部隊ト鹿部隊ト共支隊ト連發

ナリ本二十四日相續進シ長陽北方地區ノ敵ヲ挾區シツツアリ

五 鹿部隊 湘鄉周邊ノ敵ヲ掃蕩中

六、針部隊、十二時頃、株州附近ヲ通過、南下シアル筈

七、安部隊、巫山附近ノ飛行場竝ニ溪口以北、沮水間ノ水斷、密着、

置ニ直臨シツツアリ

八、健部隊、遼東山山系（二語不明）掃蕩中

九、第四四軍第一五〇師ノ師部ハ本二十四日十八時、太平橋（建始

西八軒）第一五〇師第四四八團ハ下元沖（太平橋南々西五軒）

ニアリ

一〇、臨時集團軍長歐震ノ軍政部ハ宮田（黄土嶺西二〇軒）ニアリ

第三七軍及管編第二軍ヲ指揮シアリ、管編第二軍ハ殆ド潰滅

状態ニアリテ、攸縣西方深永以北ノ山地ニアリ

一一、高縣守備部隊第十軍ハ多クモ二個師ト判断セラル

一二、揚子江西方地區各軍ハ概シテ第二四集團軍長ノ統一指揮下ニア

リテ、其ノ大部ハ安化（第四軍部第九九軍）永豐（第八七軍）

第七三軍、第四軍、各軍部及一部）漢口（第七九軍）潭市（第

六三師）アリ

一三 鹿部隊方面ニ於テ新編第一〇師ハ「クシヤミ」性瓦斯ヲ使用

セリ

一四 第九戦區 | 第十五師ハ來陽ニ、藤岳ハ二十四日蓮花（萍郷前

方五五料）ニアリ

十五、鶴ヶ平甚田邊邊時晴北寄野風ニ刃至三隊、

大塚、出原、

六月二十三日

224

1818

1818